



明治大学校友会
福岡支部だより

明治大学校友会福岡市支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

風のふくおか

22号

2008年7月



8季ぶり
32回目の
優勝を飾った
野球部!



<写真提供 明大スポーツ>

校友会福岡ホームページ <http://www.meidai-fukuoka.jp/>

支部長挨拶



私の明大OB会の過去23年にわたる福岡県支部長をはじめ、全国校友会相談役などを言めた多くの役職を、今年の6月に福岡県久留米支部長に受けていただき、福岡市の支部長と全国校友会相談役のみに専念することに致

しましたので何卒宜しくお願ひ申し上げます。

多くの大学の中で大学と校友関係の深い大学は早・慶・明をはじめ昔からのものは時代の流れに従って影がだんだんと薄くなってきておりますが、逆に新しい大学の方が名声を高くしてゆこうと力(ちから)をつけているのが現状のように思えてなりません。

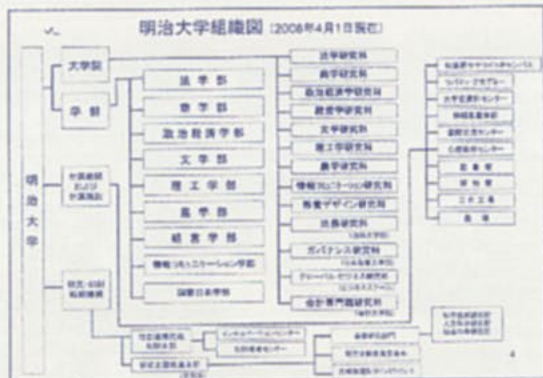
こうした現状をしっかり踏まえて、これからも校友と大学が一体となり天下に名だたる明治大学の発展に力(ちから)をそそいでゆこうではありませんか。

俗に言う私立大学の歴史からすれば、慶応が一番初めに誕生、ついで明治が一年程おくれで誕生、

次いで早稲田がこれまた明治程度のスピードで三番目に誕生したのが歴史的に記されているところですが、明治だけは東京の神田で生まれ、神田で育ち、さらに歴史を一貫して神田で成長してきた大学であってみれば、特に私などは入学も神田なら学部も神田、柔道六段もこの大学の道場で、日本の第二次世界大戦の出陣もこの大学の玄関から、さらに終戦後の昭和22年南方から帰宅して再び大学に復学(政経学部) = その必要はなかったのですが禁止されていた大学の柔道部を復活させるための野望から = 再三にわたり日比谷のアメリカ軍司令官をたずねてお願ひをし、正式に許可を得てこの年の10月に昔からあった道場を復活させることができたのでした。

やがて私は24年3月大学を卒業し、故郷の新聞である西日本新聞に就職し、東京支社の政治経済部記者を皮切りに、多くの政治家や財界人と学び、やがて大平内閣時代に福岡へ帰り、これからの時代に対応してゆくための電波との戦いに転じ、さらにテレビ西日本の経営人に転じ、今日に至っているわけで、さらに86歳になっておりますが何卒宣敷く指導賜り度くお願ひ申し上げて筆をおくことに致します。

平成20年7月19日 校友会支部長、地域支部長、本部員懇談会にて 納谷学長講演「世界に開かれた大学を目指して」の資料一部



明治大学の入学試験

私立大学一般入試志願者数(年度別)
【志願者数上位10校】

年度	2007	2008	2009	2004	2003	2002	2001
1位 早稲田	220,354	213,847	216,945	195,285	212,583	221,876	175,154
2位 慶応	126,844	102,423	81,540	90,149	106,407	103,771	122,588
3位 法政	87,673	131,421	84,528	79,813	90,138	83,384	88,141
4位 立教	70,400	91,467	81,908	76,554	86,754	88,947	94,743
5位 明治	65,709	90,214	71,450	77,174	78,184	82,821	81,441
6位 中央	61,542	76,868	71,451	74,228	72,111	71,588	80,953
7位 中法	51,288	67,585	68,812	62,277	64,611	67,434	66,582
8位 法政	45,287	61,541	58,114	62,787	62,222	61,867	67,266
9位 法政	41,927	60,402	52,164	62,831	58,276	58,876	65,131
10位 明治	34,608	58,884	57,345	61,542	48,988	51,877	51,949

★2007年度から2年連続で一般入試志願者数10万人突破。
2008年度は、前年より更に6,405人増加

明治大学校友会

名誉顧問
福岡地域支部長

古賀愛人

(昭和18年・24年・政経学部卒)

大名総合法律事務所

弁護士 岩崎明弘

(昭和34年・法学部卒)

事務所 〒810-0041
福岡市中央区大名2丁目2番26号
親和ビル3階
TEL (092) 781-0019番・781-0025番・771-1967番
FAX (092) 781-0102番・771-1967番

マンドリン演奏会のお知らせ



Meiji University Mandolin Club

明治大学マンドリン倶楽部 演奏会



マンドリン倶楽部演奏会を、来年(平成21年)3月23日(月)福岡市民会館で開催致します。
皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

新年交礼会 平成20年1月22日

平成20年の新年交礼会が1月22日にセントラルホテルフクオカで行われ、市支部校友約90名と来賓の方々17名にご参加いただき、盛大に新年を祝った。

今年の新年交礼会には昭和15年卒や19年卒の先輩方も参加されるなど、幅広い年代層の新年会になった。



乾杯のあいさつをされる綱笠久留米支部長

輩方も参加されるなど、幅広い年代層の新年会になった。来賓の挨拶で父母会の塩瀬会長が、全国父母会交流会に参加し理事長や学長など大学幹部の方全員と会えて感激し、より一層大学と父母会との連携を強めたいと思ったなどと話された。乾杯の後、懇親にはいったが、若い新入会員などの紹介もあり、さらには若手平成会企画のゲームなどもあり、新しい年の幕開けをみんなで祝った。



多くの新入会員が出席しました



楽しいゲームで盛り上がりました

HONDA

PARTS

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

代表取締役社長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

福岡県支部総会 平成20年5月31日

平成20年度の明治大学校友会の福岡県支部総会が5月31日、渡辺通のセントラルホテルフクオカで行われ、県下各地域支部より約140名の校友が集まった。



新しく県支部長になられた絹笠支部長の挨拶

会では最初に会計や事業計画について審議する総会、次に懇親会というスケジュールで行われた。総会ではまずこの1年間に亡くなられた校友への黙禱で始まり、議題の事業内容や会計についての報告及び今年度の計画など滞りなく進み、役員の一部改選に及んだ。ここで古賀愛人支部長より、先の幹事会にて家庭の事情により県の支部長を勇退し、後任に絹笠久留米支部長にバトンタッチした旨の話があった。



韓国校友会の社会長と副幹事長ご夫妻

その基礎は31万人の校友の皆さんです。これからさらに情報発信ネットワークを作り上げてトップスクールを目指します！」と話された。

また副学長の坂本恒夫先生は、今後大学も入学金を当てにせず授業料だけで運営しなければならない。既に慶応は入学金を廃止している。つまり大学の研究内容に企業が献金する時代になってくる。ハーバードやケンブリッジは700億円集めている、と変化している大学事情を説明された。

来賓の最後に今年94歳になられる青木信樹校友会会長が挨拶された。福岡の皆さんに会うのを楽しみにしてきました。ところで今年の入学生の3分の1は女性となっている。女性は校友会活動をするにもいろいろと制約があり、続けるのが難しい。その女性を校友会活動に取り込む事がこれからの大きな課題になると話された。(女性が増えるのは喜ばしいが、このような問題も出てくるのですね。)

総会終了後、お楽しみの懇親会に移った。今回も来賓として韓国支部から朴支部長や副幹事長・洪さん御夫妻、福岡県父母会から井上会長ら4名ご出席いただき、台湾の周領事



生花の提供とともに乾杯の挨拶をされる周台湾領事

の乾杯の音頭で始まった。各年度毎のテーブルでは県下同年代の校友が、最近の状況や学生時代の話などで盛り上がり、酒が酌み交わされていた。さらに若手



同世代の校友で話はずみずみ

平成会が考えたテーブル毎のクイズでは、KBCアナウンサーの逸見校友の絶妙な語りと盛り上げで、先輩後輩入り混じれて壮絶なバトルになるなど大変盛り上がったが、なんと優勝したのは昭和30年代の先輩方であった。(知識と記憶力では、まだまだ若いもんには負けん！)

こうして賑わった今年の県総会は盛況のうちに終了した。



若い校友も増えました



大いにぎわった懇親会のゲーム



何と優勝は昭和30年代の先輩方！

周先生を囲む会 平成20年4月18日



台湾の今回の選挙や現在の状況について話される周處長

明治大学の校友であり、台湾の駐福岡経済文化辦事處處長（総領事）である周碩穎先生を囲む会が、4月18日に東区の「杉庵」で行われました。

この会は、台湾の政治経済などの近況を周處長に講話していただき、台湾の今を学習した後、懇親会で親睦を図ろうというもので、上杉鷹雄福岡市地域支部副会長が代表世話人となって計画されました。当日は上杉先輩の声かけで、絹笠久留米支部長や古賀大牟田支部長をはじめ、昭和30年代卒から平成9年卒までの校友27名が集まりました。

周處長の講話では、まず台湾は人権という価値観を持った国家ですと話された後、今回の台湾総統選挙について話されました。今回の選挙で国民党の馬英九氏が当選し、民進党から政権が移ったが、これは国民党の対中関係における3つのスローガン「統一せず、独立せず、武力を用いず」が支持され、政権移譲を台湾の民意が支持したという事です、と

いっても諸外国に対する対外政策は変わらないでしょうと話されました。政治的な話の合間に、ハンサムで男前の馬英九氏がいろいろな街で遊説すると、美容院でシャンプーをしていた現地の女性達がそのまま見に出てきたほど人気があった といった話もされました。確かに馬英九氏は俳優のような顔立ちですね。（氏は5月20日に正式に総統に就任されました。）

その後、懇親会に移り、絹笠支部長が「今世界は日本のバブルより1,000倍も規模の大きいサブプライムローンの問題であわてているが、台湾だけはあまり被害を受けていないようだ。なぜ被害が少ないのか、私達は台湾の人々の国民性や生き方をもっと研究してもいいのではないか。」と挨拶され、その後和やかな懇親会となり、平成卒の校友も交えてカラオケも飛び出すほど賑やかな会になりました。



皆さん、真剣に拝聴しました

酒蔵巡りバスツアー記 平成20年3月8日

早春の筑後路、酒蔵巡りバスツアーに参加して

平成20年3月8日。平成会の今井さんプロデュースによるバスツアーに参加しました。少し寒いが晴天。セントラルホテルフクオカ9時出発進行・・・のどかな春景色・・・。

1717年、享保2年創業の高橋商店に到着。高橋社長の案内で早速工場見学、酒造工程の研修、最初に出された試飲酒 純米大吟醸の新酒は優雅で上品、江戸時代のお殿様の気分になりました。大吟醸は山田錦の米の芯40%を使用、酒粕を除くと米の20%のみの使用だそうです。高くなるはず。純米大吟醸の「繁樹」や「箱入娘」はJALファーストクラスの機内酒として使用され、世界をかける銘酒となっております。創業291年にもなる老舗の銘酒工場を後にして、昼食をはさんでの懇親会。古賀政男記念館では校友の山田館長のギター演奏で、懐メロの大合唱は印象的でした。

次に中国、西安の華清池、その玄宗皇帝と楊貴妃の恋を表す比翼の鳥と連理の枝に因んだ「比翼鶴酒造」の見学。同種銘柄の酒当て試飲審査ゲームでは1位～3位まで女性が独占、日頃の男性酒豪もこれには完敗？完敗？

校友の二ノ宮社長（昭44年商卒）から賞状と特製の樽酒がプレゼントされました。

帰途、宮内庁御用達（明治天皇が大好きだったと

の事）の校友吉村社長（昭32商卒）のクロボー製菓に立ち寄り、お土産購入。

今井さん、赤壁さんのお心遣いによる、てんこ盛りのお土産の数々。中でも比翼鶴の「耶馬寒梅」高橋商店の大吟醸「箱入娘」は純米酒でも特に美味しかった。参加された皆さん、大満足のバスツアーでした。又企画していただきたいものです。早朝より今井さん、赤壁さん本当にありがとう。

(S44商卒 伊藤 洋史)



比翼鶴酒造の酒蔵の前で



スポーツと人生について話される古賀支部長

「明治大学体育会OB交流会」と題して、去る6月20日 安永先輩の店「金篇」で体育会OB有志が集まった。これは剣道部の峯重新二郎先輩（30 法卒）の提案で、福岡市地域支部の支部長であり明大柔道部の重鎮である古賀愛人先輩を囲み、「スポーツと我が人生」というテーマで話を聞きながら、あわせて体育会OBの更なる交流を図る会をしようという目的で、清水保一先輩（34 法卒）と九州明柔会会長の神永正夫先輩（37 法卒）が話を進められた。

当日は来賓に塚本勝人朝倉市長（昭33 商卒）、瓦谷 仁 静岡県支部長（昭33 商卒）をお迎えし、柔道部、剣道部、ラグビー部、野球部、テ



古賀支部長の話を「神妙」に聞く参加者

ニス部、バスケットボール部、空手部、拳法部そして応援団、さらには福岡市地域支部の有志の方々あわせて32名の校友が趣旨に賛同して集った。

まず、塚本朝倉市長（柔道部OB）が、明治に学び先輩達から投げられてよかったと挨拶され、瓦谷静岡県支部長（ラグビー部OB）は静岡の校友は7000名いて、積極的に校友会活動に参加していると挨拶を述べられた。

それから古賀支部長に「スポーツと我が人生」というテーマで話を伺った。明治大学入学前に三船久蔵先生から「君が古賀君か」と声をかけられ、その後書生として指導を受けられた話や、戦時中は軍服を着ない軍人だった話、戦後の柔剣道禁止の中、大学柔道部を復活された話、その後新聞記者になり仕事と柔道でほとんどの国を訪れた事など話された。そして、話の最後に「明大校友の皆さんに励まされ



古賀支部長を囲み 左 峯重先輩（剣道部）
右 岩崎先輩（柔道部）

ながら頑張ってきました。私は死ぬまで自分を殺してやるんだという信念でやっています。そして皆さんとこうやって会う事が一番の元気の素です。これ

からもどうぞよろしく」と締めくくられ、万雷の拍手とともに、若手女性校友から花束を贈呈された。

この会の出席者には、古賀支部長のプロフィールや支部長がTNCテレビ西日本の社長時代に明柔会機関紙に寄稿された手記が配られたが、これを読むと改めて古賀支部長の“大人”ぶりが感じられ、偉大な先輩を支部長として仰ぐ事に福岡市地域支部校友として強く誇りを感じた。

さて、その後は懇親会に移ったが、学生時代の事やエピソードなどそれぞれスピーチを交えながら、往年の猛者たちが酒を酌み交わした。今回は、柔道部が中心になり人数も多かったが、これから剣道部や野球部、ラグビー部などが順次中心になって、このような交流会をしようという話も出てきた。

最後に応援団の小石原先輩の音頭のもと、全員で校歌を斉唱して有意義な交流会は終了した。



参加者の皆さんの交流も深まり有意義な企画でした



三井税務会計事務所

代表 三井 成隆

(平成4年 商学部卒)

〒810-0001
福岡市中央区天神4-8-25 ニッコービル6階
(福岡税務署横、JA福岡信連前)
TEL 092-718-0191 FAX 092-718-0391
Email: mituitax@ybb.ne.jp

しみず住宅(有)

代表取締役 清水 保一

(昭和34年・法学部卒)

福岡市南区大楠1丁目28-19
TEL (092) 531-3746
FAX (092) 526-1022

第21回韓国同窓会

明治大学韓国同窓会が6月7日(土曜日)に開催されました。例年、団長を務められる絹笠県新支部長は、今年は校友会副会長として校友会代表で訪韓されることになり、福岡県支部の団長は上杉先輩が務められることになりました。永淵久留米新支部長、小石原先輩、昨年はパスポート切れでリタイアした赤壁氏など今年も多彩な校友と共に7日朝、福岡空港から楽しい韓国旅行に出発しました。



車椅子を使って韓国同窓会に参加された青木会長の挨拶

飛行機は12時にソウル仁川空港に到着。入管手続きを済ませ空港ロビーに降り立った我々一同は驚愕。なんと青木校友会長が車椅子に乗り、朴会長や厳幹事長と挨拶されている光景を目にしたのです。5月31日の福岡県支部総会に青木会長が車椅子で参加された事は皆さんもご存じだと思います。その時、来賓で来福されていた韓国支部の方々を訪韓を約束されたとの事ですが、車椅子で海外旅行は無理だろうと判断し絹笠副会長が代行すると聞いていた我々が驚きの表情で会長にご挨拶すると、青木会長は「韓国支部の方々とお約束しましたので、約束どおりやって来ました」と当然の如く語られました。

人は年齢で老いるのではない。90歳をとうに過ぎた青木会長の気力、行動力は壮年にも勝るものだと驚き、その飄々とした語り口の中に人生の凄みを感じた次第です。肖り足し。

空港で青木会長や朴会長と一旦別れ、我々福岡訪韓団は貸切バスで市内へ向かいました。旅行前に友人からソウルは狂牛病デモで大変だろうと心配されましたが、韓国ではデモやストは一種のスポーツ感覚で毎日起こっていることだし、問題ないと思っていました。しかしソウル市内に入ると警察官(日本の機動隊)の姿が目立ち、中心部に進むほど警察官の人数は異常に増え、警察バスを横向きに止め4車線の道路を1車線に狭めるバリケードを築いており大渋滞に巻き込まれました。参鶏湯の昼食を摂るのがやっとで、市内観光など思いもよらず渋滞の道路を掻き分けながらホテルに到着し、やっと一息つきました。

同窓会は、同日17時より例年通りソウルのロッテホテル37階で開催されました。ロッテホテルでは、福岡市地域支部の葉照子氏(S52文卒)と合流しました。彼女は昨年から釜山大学の客員教授として韓国に在住しており参加の運びとなりました。女性校友の参加は初めての事(だと思います)で大歓迎されました。

来賓挨拶は青木会長、絹笠副会長、大学から柳沢

副学長、上杉団長の挨拶と続き、やがて和やかな懇親会に進みました。懇親会の圧巻は何と言っても、厳幹事長の奥様の歌唱でした。武蔵野音大に留学しておられた奥様の本格的な歌唱力は素晴らしいものでした。今年の校友会秋田全国大会でも歌を披露される予定だとの事。参加される校友はご期待あれ。



ソウルの街に校歌が響く一音頭をとられる上杉先輩

翌日は、江華島観光でした。江華島は漢江を巡り首都ソウルに至る海からの進入口に位置しており軍事的色彩の強い島で、古くはモンゴル侵攻時の臨時首都になったり、近代では日本との江華島条約締結の舞台となった歴史の島ですが、日本人観光客はほとんど行かない、我が明大校友会旅行ならではの観光でした。

江華島からの帰りのバスの中で、久留米支部の永淵支部長が、ふと「僕の幼友達で葉くんという医者の子がいたんだが・・・」と話されると、葉照子氏が「それ、うちの主人です」、世の中は広いようで狭いとは良く言ったもの。一同の驚きの中で、お二人の会話が弾みました。

翌日は朝食後、初日に観光できなかった清溪川散策に出発。残念ながら仕事がある私は、散策に出かける皆さんを見送り、一人寂しくリムジンバスで仁川空港へ。

帰国後聞いた話では散策後、厳幹事長ご夫妻の招待で天然鰻の蒲焼きをご馳走になったとの事。落語で鰻を焼く臭いだけ嗅ぐ話がありますが、まさにその心境。残念。

ともあれ今年も、様々な出会いや驚きがあった楽しい旅行でした。帰国したばかりなのに、今度は11月の台湾同窓会か、はたまた来年の韓国同窓会かと心は期待でふくらむばかりです。次回の旅行には是非多くの校友が参加される事を期待しています。

(S52商卒 佐藤 洋)



全員での集合写真

ラグビー観戦記

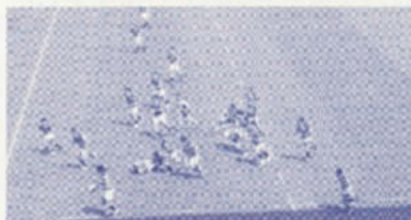
昨年の明早戦に続き今年も紫紺のジャージが博多にやってきました。OB有志でレベルファイブスタジアム(旧・博多の森球技場)に集い母校を応援に駆けつけました。

結果は完敗でした。慶応の「魂のタックル」は相変わらず炸裂していましたが、私の見るところでは明治のフォワードが厳しい。レギュラー格を抜いているとはいえ、かなり不安になりました。フォワードの存在感を感じないのです。確かにバックスは調子がいいとは聞いていましたが、あまりにも展開しすぎて慶応のタックルの餌食になっていました。

最後に救われたというか、すごいと思ったのは、地元・筑紫高校から入部したての1年生。身長152センチ

で懸命にフォワードの大男の後ろについてボールを出していた姿です。彼がレギュラーになれば面白いと思いますが、いやーあの体格でよくやります。「素」君の今後を見守りたいと思います。それにしても今年はどうなるんだろう…

(S59政経卒 松本 靖朗)



天気はよかったが…

第47回 駿台ゴルフコンペ

去る6月25日、ザ・クラシックゴルフ倶楽部にて第47回駿台ゴルフコンペを開催いたしました。当日は県内各支部から参加して下さった24名のプレーヤーの熱意が勝り、天候も梅雨の最中ではありましたが若干の霧雨に見舞われた程度ですみました。かえって気温も上がりコンディション的には上々だったのかもしれない。

とんでもないロングドライブでドラコンを手にした先輩やドンビシャにつけたニアピン賞の先輩がいらっしゃる中、優勝は伊藤泉先輩(大年田支部、51年政経卒)、準優勝は中野正先輩(福岡市支部、36年政経卒)、ベストグロスには山川弘則先輩(小倉支部、38年商学部卒)という結果でした。

また、当日はザ・クラシックゴルフ倶楽部主催の「TOYOTA CUP 感動をありがとうコンペ」も開催されており、私たちはそのコンペにもダブルエントリーしていたのですが、こちらのコンペでも明大旋風を巻き起こし、優勝の衛藤幸生先輩(小倉支部、33年法学部卒)を筆頭に飛び賞も含め11個の賞品を獲得いたしました。

今回ご参加いただきました皆さん、お疲れ様でした。今回の活躍をいかして秋の6大学対抗ゴルフも連覇いたしましょう!

なお、次回の駿台ゴルフコンペの幹事は久留米支部

です。久留米支部のプレーヤーの皆さん、よろしくお願いいたします。

追伸 今回のコンペでは60年卒と59年卒の私と、この2人が最年少参加者でした。この年になって最年少というものも「なんだかなあ」という気がします。若手の皆さん、お父さんやそれより年上の先輩方と一緒にさせていただくゴルフもなかなか楽しいものです。皆さんの参加を心待ちにいたします。あるいは、「若手でのゴルフイベントを企画してみたい」という提案もいただいていますので、興味のある方はぜひご連絡下さい。

(S59年工学部卒 佐野 貞和)



梅雨時にもかかわらずいいコンディションでした

明志会報告

今年初めての明志会が2月26日に開かれました。講師には財津ユカさん(有限会社オフィスエイツ 代表取締役)に「モテル男、モテル女とは」をテーマにお話をいただきました。財津さんは、司会・リポーター・パーソナリティー・RKBアナウンサーを経て現在しゃべり手のプロダクション「オフィスエイツ」の代表を勤め、ご自身もプレーヤーとして「コミュニケーション」に関する講演・講師活動及び「福岡を人が輝く街に」をモットーに様々な活動を行っておられます。

モチタイと日頃から念じている参加者たちは財津さんの鋭い分析に大きくうなずいていました。特に「容姿ではなく、コミュニケーション能力が決め手」というくだりにはうなずきが大きくなっていったのは、気のせいでしょうか。2次会には講師も付き合っていた

き大いに盛り上がりました。

たまにはOB講師以外の方をお呼びするものいいなと思った次第です。

(S59政経卒 松本 靖朗)



モテル男になるために必死に話を聞く参加者

校友紹介1

10年前まで福岡支部の若手の会「博紫会」の主要メンバーだった永田君が、長崎でジャガイモ作りががんばっている話を聞きましたので、近況報告をしてもらいました。



福岡支部の皆様大変ご無沙汰いたしております。長崎の永田です。

先日、近況を送ってほしいとの連絡があり、懐かしさと日頃のご無沙汰のお詫びにペンをとりました。この場をお借りまして私の近況と少しだけPRをさせていただきます。

私も長崎に戻ってちょうど10年になり、現在は校友会長崎支部の諫早地域支部に所属しております。小生の変った事といえば、9年程前に既に飛行機（長崎航空勤務）は降りて、顔と手が日焼けで黒くなっていることでしょうか。認知症の父に替わって本格的に農業に従事しております。大規模経営ではないのですが、稲作と馬鈴薯（じゃがいも）の栽培に取り組んでおります。

特に馬鈴薯については長崎県が北海道に次ぐ第二位の生産高を誇り、赤土栽培の愛野ジャガイモは「愛の小町」という名称でブランド化され、その殆どが関東の大手スーパーに向けて出荷されております。

最近、特に食の安全が取りざたされており、平成18年5月より残留農薬のポジティブリスト制度が導入され、農産物も美味しさや新鮮さはもちろん、安全性が厳しく問われています。昨年より私もエコ・ファーマーとして認定を受け、農薬、化学肥料を従来の5割

削減での特別栽培（減農薬栽培）に初めて挑戦しました。少し不安はあったのですが美味しいお米とジャガイモが収穫できました。

また、ジャガイモについては昨年より直販を始めたのですが、直販することで消費者の生の声を聞くことが出来、消費者が今何を求めているのか非常に参考になります。

予約申し込みいただいた方へは「ぼと倶楽部」の会員として登録させていただき、ブログやE-mailで栽培状況を随時発信しておりますが、まるで自分が栽培しているかのように身近感があるという事で好評を得ています。今年の春作ジャガイモは福岡支部の数の方からもご予約いただいております。その中でも岩田先輩は、ブログを見ながら独自に家庭菜園でも栽培を楽しまれているようです。

現在、既に今年の秋作ジャガイモ（12月収穫）のご予約を承っております。この北海道に次ぐ生産高を誇る長崎の「愛野のじゃがいも」を、福岡支部の皆様へは会員価格でお届けしたいと思っております。是非、私の自信作をご賞味いただきたくご案内いたします。また、雲仙山麓で諫早湾干拓を望み、ドライブを兼ねた芋掘り体験もいかがでしょうか。

私の近況というよりCMになってしまいましたが、最後に福岡支部の皆様のご健康とご多幸を長崎より願っております。

お問い合わせは090-8768-5712（永田）または、a-nagata@sky.dti2.ne.jpまで。

（S54農卒 永田 博）

校友紹介2

はじめまして、昭和60年政経・経済卒の齋藤吉則です。わたしは、現在、九州三井不動産販売（株）で不動産仲介の仕事をしております。と言ってもピンとこないかもしれませんが、三井のリハウスと言えば分かって頂けると思います。私の所属している店は天神のご真ん中にあり、名前は「福岡店」です。そこで店長をさせて頂いております。ちょっと店のPRをさせていただきたいと思っております。

2006年1月7日より「福岡ビル」4階に「三井のリハウス福岡店」をオープンさせました。「福岡店」は全国244店舗の中でも数少ない総員23名の大規模店舗で、福岡都市圏全域を営業エリアとしております。また、不動産売買仲介だけでなく賃貸業務も行っております。店内は落ち着いた雰囲気の中で商談ができる様いくつも接客ブースを設けており、お客様と一緒にパソコンで物件検索もできます。「福岡店」はこの好立地を活かして来店型営業を目指し、お客様にご満足いただける店舗づくりを行ってまいりました。是非、校友の皆様一度お立ち寄りいただき、不動産について何かご相談があれば何なりとお申し付けください。とこのような仕事をしております。

休みの日には、ストレスを解消するため（不動産仲介業は見た目より結構たいへんです）毎週山に

行っております。良く登るのは宝満山（この山も見たい以上にきつい山です）

ちょっと時間があれば九重連山に行っております。来年は北アルプスの穂高連峰にチャレンジしたいと考えております。今は山に出会えて良かったなああとつくづく思う毎日です。最初友人に山に連れて行かれた時は、こんなきつい事を頼まれもしないのに良くやるよなあと思っておりましたが、今では人に会うと山の話して盛り上がりたり、盛り上げられなかったり人により反応がさまざまですが（私も3



久住山の山頂にて

年前までは興味がございませんでしたので）その反応を見ながら楽しんでおります。

最近では、登山人口が増えていとも聞きますので校友の皆様も是非一度山に行かれると良いかと思っております。絶対にはまりますよ。健康で長生きしましょう。以上とりとめの無い事を書いてきましたが、唯の山好きのチョイ悪おやじです。これから校友の皆様宜しく願いいたします。

（S60政経卒 齋藤 吉則）



すべての国々にはそれぞれの習慣や風習があります。現在おとなり韓国の釜山大学に客員教授として赴任しておられる葉 照子（昭和52年 文卒）さんに、韓国生活について寄稿していただきました。



2007年8月29日、高速船ビートルで釜山に向けて出発した。初めての韓国である。近いのに旅行すらしたことがなかったため、言葉も料理も真正銘、初体験ばかりである。出迎えの人の案内で大学まで到着。赴任先は、釜山国立大学校（PNU）

人文大学 日語日文学科（韓国では大学を大学校、学部を大学と表現する）である。私はこの大学で客員教授として、日本事情と日本語会話を教えることになった。釜山大学は学生数約2万5千人の総合・国立大学である。住所は「山30番地」と言うだけあって、一番上の校舎まで行くには山登りとなる。釜山のほとんどの大学は山の斜面に立っている。大学内ではミニスカートやピタリジーンズの女子学生が多い。男女のカップルが手をつないだり、肩を組んだり、抱き合う姿もしばしば見られる。自分の彼女、彼女を鮮明に他人にアピールする姿勢は、日本よりオープンである。

大学内状況としてはこちらの日本語・文学関係の先生達は皆、日本語はべらべらであり、私は十分意思疎通できる環境にある。さて「日本事情」のクラス目標は「日本語の普通のスピードに慣れること、その中から日本について学ぶ」と言うものである。私は100%の理解を期待していなかった。しかし私語は全く無い。必死で聞いているのである。その結果、彼らは十分に私の話を理解する。授業中概しておとなしいが、指名した場合逃げずに発言し、日本語できちんと議論も出来る。中学高校で日本語が選択できることもあり、日本語学習経験者も極めて多い。

その反面日本には韓国語学習人口が少ない。私もご多分に漏れず韓国語の一つも知らなかった。予想していたが、街はハングル文字とハングル音の洪水で、私は「見ざる・言わざる・聞かざる」ではなく「見えざる・言えざる・聞けざる」となってしまった。そこで2ヶ月韓国語を習ってみたのだが、これが大変である。覚えられないこと甚だしい。でもおかげで「ノッポ、ペコペコ、モグモグ」など韓国語出身であろうことが

判った。

韓国に来て最も驚いたのは食事の時のこと。いろいろな料理が並ぶが、数の多さに度肝を抜かれた。韓国人は大食漢でもあるし、残すくらい料理を並べることが歓迎の意思表示の文化であるので、残してもよいのだと。鍋も皆で食べるべくテーブルに出される。しかしお椀、取り皿はなく、柄の長いスプーンがあるだけ。ぐつぐつの熱いスープを鍋からスプーンでじかに口に運ぶのである。4人テーブルなら4人が一つの鍋をそうやって食べる。たくさんの皿に入った料理も、箸でじかに口に運ぶ。いったん皿にとってではなく、じか箸、じかスプーンである。日本では子供がそれをしてら、お母さんは子供を叱る。しかし郷に入れば郷に従えである。我が周辺に肝炎の人のいないことを願うばかりである。キムチも種類豊富に並ぶし、なくなれば次々と持ってきてくれる、いわば食べ放題。韓国人が日本の焼き肉屋でキムチを韓国のつもりで何度もお変わりしていて、会計の時にキムチの値段が肉より高かったという実話は二人から聞いた。キムチのおいしいことと女性客が多いことが、いいレストランの目安だという。

韓国のコーヒーは胃にやさしい。麦茶党の人にお勧め。エスプレッソは濃いかと思って注文したら、コーヒーは濃かったが、デミタスカップに3分の1の量のコーヒーが来た。何かの間違い？と思って聞いてみたら、それが正しいと言われた。欲求不満気味にその店を出たが、もう一軒の店も同じだった。誰かエスプレッソコーヒーの定義を教えて欲しい。それ以来コーヒーは自分の部屋でいれて飲むことにしている。

釜山には「白熊」に似た「バピンス」と言うリッチな氷の名物がある。国際市場の雑多な通りに、屋台でバピンスを売っているおばさんがいて、食べ終わったら「もう一杯いかが？」と言って、たっぷりのもう一杯をサービスしてくれる。そうしたら、若い韓国女性二人で一杯を注文、おばさんは「もう一杯いかが？」彼女らはありがたうと言ってもう一杯。ふたりが一杯分の支払いで2杯分食べていった。この二人の女性に「えっ？」と思いつつも、私はそんな心優しいバピンス売りのおばちゃんが、すっかり好きになった。

(S52文卒 葉 照子)

10

株式会社 善設計事務所

代表取締役 善 敏治
(昭和50年・工学部卒)

〒810-0021
福岡市中央区今泉1-21-13
TEL (092) 402-0023

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 野口 順四郎
(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1
TEL (092) 611-4423

活魚料理 食事処

杉 庵

会長 上杉 鷹雄
(昭和33年・商学部卒)

〒813-0062
福岡市東区松島3-16-11
TEL 6 1 1 - 7 2 8 4



思い出の先生 舟橋聖一先生

◆◆◆ Topic



毎週日曜日夜8時のNHK大河ドラマ「篤姫」が放映され、高視聴率を上げています。この大河ドラマは昭和38年が第1回で、現在第48回になっています。さて、皆さん第1回の作品名はお分かりでしょうか？・・・そう、第1回作品は「花の生涯」です。主な出演者は尾上松緑、佐田啓二、嵐寛寿郎、淡島千景で、幕末の大老として日本開国を推進し、桜田門外の変で暗殺された井伊直弼の波乱に富んだ生涯を中心に、関係ある人間の運命を華やかに描き出した歴史長編小説です。そしてこの作品の作者こそ、当時明治大学で教授として活躍されていた舟橋聖一先生です。私は舟橋先生の「小説研究」という科目を履修していましたので、当時の講義を回想したいと思います。

先生はいつでも目の覚めるような真っ赤な又は濃いブルーのブレザー姿で、芸能人顔負けの超ド派手な服装でわたしたちの前に現れておられました。先生は東京出身、父は東京大学教授、母は財閥の娘で裕福な環境にあり、子供の頃より祖母の影響で芝居役者、芸者、相撲取り等と接して、自分の文学を形成してこられました。女性の奥深い美

しさ、華やかさ、哀愁美、官能美等表現は超一流で、その中でも芸者、花魁、遊女については日本の伝統的な美を融合させる事については日本一と評価されていました。また、先生は第二次世界大戦中は戦意高揚の小説は書かず、蕭条しに雪駄履きで歩き、静かな抵抗をしたり、明治政府に否定されて、安政の大獄で人々に恨まれた井伊直弼を主人公に選ぶなど、反骨精神があったそうです。これは明治大学建学の精神にも合い通じると思います。

先生の言葉で思い出に残っているのは、「若い時はいろいろな経験をしなさい。それらはすべて無駄はない。悔いの残らない完全燃焼をしなさい」でした。地方出身の私には一流の文化人会えるこの講義は無欠席で、他学部の友人を連れて受講した事を思い出します。

他の教授には、戯曲「夕鶴」や宇野重吉が上演していた「彦一ばなし」「三年寝太郎」の劇作家 木下順二先生、日本近代文学の戦後批評界中心の中村光夫先生が在職されておられました。さらには客員教授として亀井勝一郎先生が講義をされるなど、各分野の著名な先生方の講義があり、日本を代表する一流の先生方に接する事で大感激した事が懐かしく思い出されます。

(S42文卒 高園 義郷)



市支部財政は火の車

◆◆◆ Topic

市支部の会員は現在約1400名。その内、年会費を払って頂いているのは、毎年220名~240名(15%)です。振込みが大半で、その手数料を引くと実際の年間会費収入は70万円弱となります。

そのほかに収入として、新年交礼会の当日会費とご祝儀、秋の懇親会当日会費とご祝儀がありますが、これらの収入は当日の会場費等で消えてしまい余剰金は出ません。「支部だより」の広告費収入も「支部だより」印刷費等に全て充当しています。

よって市支部会計はこれだけでは赤字となります。そこでこの赤字を埋めるためにマンドリン倶楽部演奏会を定期的で開催し、収益を少し上げさせていただき補填しています。(市支部会計に補助金名目で毎年20万円を計上させていただき収支バランスを保っている状況が続いています。)そこで一人でも多くの方々に年会費をお願いします。

なにとぞ市支部の会計状況をご理解の上、ご協力を切にお願い申し上げます。

赤字国債を発行して、収入不足を補って財政運営している日本国政府と同じ状況です。(財務委員長 善 敏治)

明治大学校友会 福岡市地域支部 平成19年度 収支決算書

収入の部			支出の部		
費目	予算額	決算額	費目	予算額	決算額
1. 地域支部会費収入			1. 事業費		
年会費	800,000	672,000	全国大会参加費	200,000	110,000
雑会費	450,000	208,000	熊本県・大分県交流会費	60,000	48,000
新年交礼会費	600,000	423,000	その他事業費	20,000	28,500
2. 協賛収入			2. 広報費		
支部だより広告	300,000	254,370	福岡市報費発行費	220,000	207,323
3. 賛助会費収入			会誌発行費	200,000	98,350
印刷(物・会)	30,000	5,000	本報ホームページ維持費	50,000	32,130
印刷(空札会)	50,000	60,000	3. 運営費		
4. 雑収入			会費徴収		
賛助金	200,000	200,000	1000名会費	150,000	176,125
受取利息	279	1,589	20代の期前納金	80,000	21,820
その他雑収入	50,000	80,000	20歳会費	400,000	240,250
			70歳年交礼会費	200,000	520,000
			事務費		
			印刷費	200,000	126,690
			印刷委託	150,000	112,410
			印刷入会費等	30,000	35,104
			会費徴収	10,000	5,190
			印刷費	30,000	37,585
			5. 予備費		
			予備費	200,000	0
小計	2,500,279	2,053,959	小計	2,695,000	2,033,542
前年度繰越金	1,908,144	1,908,144	次年度繰越金	1,703,414	1,681,661
合計	4,408,414	3,912,103	合計	4,408,414	3,912,103

懇親会のご案内

福岡市地域支部の懇親会を下記の通り開催いたします。是非ご出席下さい。

- 日時 平成20年9月19日(金) 18時30分~20時30分(予定)
- 会場 セントラルホテルフクオカ・3Fダイヤモンドホール
福岡市中央区渡辺通4-1-2 TEL092-712-1212
- 会費 5,000円
(但し、女性校友及び平成13年卒以降の校友は4,000円)
- 問い合わせ先
福岡市地域支部幹事長 矢谷 学(昭50法卒)
TEL092-631-3336(三栄印刷)



代表取締役
松山 孝義
(昭和60年 法学部卒)

松山建設株式会社

〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002
e-mail: tm1999@pop06.odn.ne.jp



明治大学剣道部の戦後初代監督で昭和30年法学部大学院卒の峯重新二先輩から、「明治大学100年史 全4巻」を寄贈いただきました。

明治大学は、明治14（1881）年1月、明治法律学校として創立されたので、昭和56（1981）年に創立100周年を迎えています。100周年に向けて百年史編集委員会が設けられ、昭和61年に第1巻が、以後隔年ごとに1巻ずつ刊行されました。各巻約1000ページにもなる膨大な資料ですが、時代のエピソードや大学の今昔などを少しづつ紹介できればと思います。



上の絵は第3巻の背表紙裏にあった絵です。これは明治32年に描かれた「東京名所図絵」の一枚で、御茶ノ水橋と駿河台の「小松宮邸」（現在の駿河台校舎の場所）や「杏雲堂病院」がはっきり示されています。神田川の両側の樹木の生い茂る急斜面は、昌平學の学者達によって雅名を茗溪と名づけられたそうです。

（今の順天堂大学側から駿河台本校を見た絵ですね。それにしてもこんな溪谷の風景が今の御茶ノ水とは以外でした）

（『風俗画報』「新撰東京名所図絵」 明治32年7月による）

編集後記

校友の皆様 雷中
お見舞い申し上げます。
梅雨入りが早かった分、梅雨明け

も早いようで、この支部だよりが皆様に届く頃には軒並み最高気温が更新されているのではと心配しております。北海道洞爺湖サミットでも取り上げられており、このところ「地球温暖化問題」の話を聞かない日はありませんね。思い出すのは、私が学生の頃、第1次オイルショックが起こり（昭和48年）、数ヶ月にわたり、夜12時以降街のネオンが消えテレビ・ラジオが全部放送中止になった事がありました。その時は石油が足りないからという事でしたが、よくあんな事が日本全国でできたなと感心します。本当は今、全世界でしなければならない事ではないかと思ってしまう。生活の便利さを追求すると、反対にいろいろな弊害も出てきますね。

さて、支部だより「風のふくおか」22号をお届けいたします。今回も多くの校友にいろいろな記事や写真をお寄せいただき、バラエティーに富んだ内容になりました。ありがとうございました。内容について何か御意見、お問い合わせ等ありましたらお寄せください。なお、支部だより編集にお手伝いいただける方も募集しております。最後になりましたが、いつもながら協賛広告に御協力いただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。今回は広告のお願いで失礼があったにもかかわらず、協賛広告に御協力いただきました。厚くお礼申し上げます。

編集委員一同

編集委員長	本田 博志 (昭52法)	委員	石迫 弘久 (平8文)
委員	佐野 貞和 (昭59工)	校友会事務局	矢谷 学 (昭50法)
	三井 成隆 (平4商)		高野 礼子 (平元法)
	今井 葉子 (平4党)		

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要だと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからのいろんなところで
カタチにしていきたい。



いつも人が 発想の原点。

株式会社 **松本組** 代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)

【本社】〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031 (代)